

令和2年度12月補正予算の概要

令和2年11月
総務部財政課

令和2年度12月補正予算について

◆ 今回の12月補正予算は、次の経費に限定して編成

- I 感染症患者の受入病床の確保や、住民生活の維持のための貸付原資の増額など、
新型コロナ対策に要する経費
- II 令和2年7月豪雨で被災したJR内子線の災害復旧など、当面措置を必要とする経費
- III 人事委員会勧告に基づく給与改定経費

コロナ対応予算総額：1,115億円
(R元年度：5億円 R2年度：1,110億円)

1. 新型コロナウイルス感染症への対応：54億9,622万円

(注：◎は新規施策分)

- | | |
|---------------------------------|------------|
| ① 感染症患者の受入病床確保に係る国補助基準額の引上げへの対応 | 18億3,575万円 |
| ② 生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付け | 36億4,300万円 |

2. 当面措置を必要とする経費：9,683万円

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| ◎ ① 令和2年7月豪雨で被災したJR内子線の災害復旧支援 | 4,575万円 |
| ② 令和2年7月豪雨で被災した農業用ハウスや機械等の再導入及び修繕への支援 | 1,083万円 |
| ③ 私立高校の耐震改修への支援 | 3,000万円 |
| ④ 加工食品の輸出促進に向けた衛生管理基準対応設備の導入支援 | 1,025万円 |

3. 給与改定経費：

▲5億 116万円

(1) 一般職 ▲4億9,797万円 (一般会計 ▲4億2,491万円、企業会計 ▲7,306万円)

区 分	職 員 数	予 算 額
一 般 会 計	2万1,543人	▲4億2,491万円
一 般 職 員	4,222人	▲8,905万円
警 察 職 員	2,875人	▲5,966万円
学 校 職 員	1万1,705人	▲2億6,404万円
会計年度任用職員	2,741人	▲1,216万円
企 業 会 計	2,707人	▲7,306万円
一 般 職 員	2,066人	▲6,393万円
会計年度任用職員	641人	▲913万円
合 計	2万4,250人	▲4億9,797万円

【給与改定の概要 (人事委員会勧告どおり)】

① 期末手当の年間支給割合

0.05月分減 (期末2.60月分 → 2.55月分)
(勤勉1.90月分：据置き)

※期末勤勉年間支給割合：4.50月分 → 4.45月分

R2年12月1日

② 実施時期

(2) 特別職 ▲319万円 (一般会計 ▲313万円、企業会計 ▲6万円)

期末手当の年間支給割合の引下げ

0.05月分減 (年間支給割合：3.40月分 → 3.35月分)

予 算 規 模

◆ 一般会計 補正予算額 51億6,501万円 【累計 7,718億1,426万円】

◆ 企業会計 補正予算額 (3会計) ▲7,312万円 【累計 728億6,207万円】

令和2年度12月補正予算の内訳

一般会計 歳入予算

区 分	補正予算額	備 考
国 庫 支 出 金	54億6,317万円	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金、 新型コロナ緊急包括支援交付金 など
繰 入 金	▲2億9,816万円	災害に強い愛媛づくり基金繰入金、財政基盤強化積立金繰入金
合 計	51億6,501万円	

一般会計 歳出予算

区 分	補正予算額	備 考
人 件 費	▲4億2,804万円	給与改定経費
投 資 的 経 費	9,682万円	
公 共 事 業	2,107万円	経営体育成支援事業、加工食品輸出基盤整備支援事業
県 単 独 事 業	7,575万円	JR内子線災害復旧支援事業、私立学校耐震化促進事業
そ の 他	54億9,623万円	生活福祉資金貸付事業、新型コロナ医療提供体制確保事業 など
合 計	51億6,501万円	